

はじめに

渡米してから4ヶ月目になります。渡米当初は一週間の長さに戸惑いつつ文化や生活に慣れるようつとめるのに必死だったのがここ最近では一週間の早さにとても驚いています。Rochester Institute of Technologyでは夏学期から来年の春学期までの一年間滞在する予定です。私はこの3ヶ月の間、英語の文だけを書いていたため日本語で文を書ける喜びを味わいながら書いておりますが、やはり改めて英語でのライティングに力を注がなければと思いました。本報告書ではアメリカでの生活、キャンパスライフ、ELC (English Language Center)などについて書かせていただきます。授業の詳細や他の活動については来月からさらに詳しく書いていく予定です。

アメリカでの生活について

初めての渡米、飛行機の乗り継ぎで飛行機を待つ間シカゴ空港で昼食を注文するとき全く自分の発音が相手に伝わらないことにショックを受けました。私がソーセージを入れてほしいと連呼するが全く伝わらず、やむを得ず指でさすしかできなかった。単語を話し手も伝わらないため声を自然と小さくなりより伝わらない悪循環に陥る。これが最初の壁でした。まだ滞在して3ヶ月ですがさまざまなカルチャーショックが自分を襲いました。

コミュニケーション

ネイティブな人と会話をする上で、上記でも述べたように発音が伝わらないため会話が難しく現地の人はお構いなしに高速トークで話してきます。英語に耳が慣れるのにとっても時間がかかります。もちろん3ヶ月だけではすべてを理解することができませんが渡米当初に比べ最近では自分でも慣れたことを実感してきました。一日一日単語量を増やしていくことの大切さを改めて感じています。なにより一番カルチャーショックを受けたのは、道を歩いていると誰でもかまわず話しかけてくることです。もちろん頻繁にはないですが日本と比べると頻繁に感じてしまいます。

食事

食事の問題では全くと行っていいほど私には合いませんでした。校内では飲料水が日本の2倍し、最初の3ヶ月はキッチンもなかったため自分で料理もできず、夏休みのため食堂の終わる時間が夜6時など、まず生活習慣が大きく変わりました。自分の口に合うハンバーガーなどの高カロリーなファーストフードを食べていたら瞬く間に体重が増えてしまいました。外食をしようにも日本と違い高価で更にチップも必要になる。寮を移ってからは共用のキッチンを使用し、友達の家で料理をするなどなんとか慣れましたが、やはり日本の料理や韓国の料理が恋しいです。

気候

アメリカでの6月から9月はとても過ごしやすかったです。そこまで暑くなく、しかし日差しがとても強くキャンパス内ではほとんどの人がサングラスをかけている姿が目立ちました。そして何よりこの三ヶ月は日が沈むのがとても遅く9時に沈んでいたためすごく不思議な感覚でした。これからの冬は氷点下まで下がるため体調に気をつけながら生活していかなければなりません。

キャンパスについて

RITでは多くの学科や施設があるためとても広く、寮からクラスまで15分もかかるくらい広大です。キャンパス内では様々な活動する場所があり、結構自由に使われています。新学期がはじまり校内の壁や床にはさまざまな勧誘や案内などが描かれており、キャンパス内には教会や宗教施設まであります。新学期がはじまると様々な施設が遅くまで利用できるため生活する上で必要な物ほとんど校内で購入でき施設の充実さに感謝しています。

寮

学校生活では防犯の面で心配していたが、校内では何も気にせず生活できました。夏学期では NRH(Nathaniel Rochester Hall) で生活していたが、夏休み中ということもありほとんどの学生がいなく静かでした。NRH では 2 人部屋なのですが、私だけルームメイトがいなかったです。最初期待していたため残念だったことを覚えています。しかし友人の話を聞くとルームメイトによって苦勞することもあるそうです。この秋学期からは寮を Global Village に移動し現在では一人部屋ですが 6 人で暮らしており、こちらでは寮周辺に食堂や小さなスーパーなどがあるためとても快適に過ごせています。



図1 NRH/2人部屋



図2 Global Village/1人部屋

食堂

アメリカでの食事ではサンドイッチであったり野菜であったり肉の焼き方などすべてにおいて様々な選択ができることに驚きました。日本ではメニューをオーダーしたら終わりなのですがアメリカではサンドイッチでは具の種類やチーズの種類さらにパンの種類までも選択できるのです。肉の焼き方などは予備知識でありましたが、種類の豊富さに圧倒されましたし最初注文するときどうしても時間がかかりました。しかしアメリカといえればすべてが大きいイメージでしたがそこまで大きくなくそこは裏切られた形になりました。そして食品それぞれに食品の詳細表が提示されており、この具材は何カロリーなどわかりやすく表示されていてわかりやすい面もあります。しかしやはり各料理カロリーが高く考えて注文をしないとすぐに体重増加につながります。

イベント

RIT 内ではスポーツが盛んで今年の9月に新しくアイスホッケーの施設ができました。そこで女子の開幕戦を観戦してきましたが、応援する人が多く、大学のスポーツでここまで盛り上がることに興奮しました。さらに隣には人工芝の運動場などここでもサッカーやフリスビーなどのアクティビティが行われています。私も intramural のサッカーに参加しており、毎週校内のグラウンドや室内で汗をかいています。日本ではほとんど運動をする機会がなかったため新たな友達や出会いの場所として、とても充実したキャンパスライフをおくれています。



図3 アイスホッケー場



図4 Turf Field

ELC (English Language Center)

ELC での夏学期では Writing & Reading Lang, Analysis & Acc, Speaking Listening の三クラスで勉強していました。月曜日から金曜日まで一日かけて英語の勉強をしました。クラスでは 9 人中 8 人を、サウジアラビア人とドバイ人とがしめ私以外アラビア語を使われ少し苦戦しました。文法の授業では文法の専門用語やわからない単語が出るたびに辞書に頼ってしまいその度に時間がかかりました。さらにディスカッションの時などでは自分だけ読むスピードや理解速度が遅いため予習、復習が必須になってきました。Essay などを読んで解く問題では単語量が必要になりより単語の暗記にこの 3 ヶ月は費やしました。授業の詳細などは来月に更に詳しく説明していきたいと思います。

アクティビティ

ELC では毎週末にイベントを開催しており、湖やナイアガラの滝に学校側がバスを手配し、安い値段や無料ででかけることができます。そこでもさまざまな人たちとふれあう機会がありました。そこでそれぞれの文化についてしり、自分の中で他国の文化や人柄を理解する上で非常に大切な時間をもてました。これからもこれをつづけながら了見を広げていきたいです。



図5 寮内での BBQ

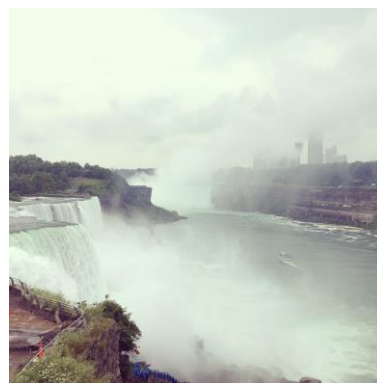


図6 ナイアガラの滝

おわりに

この三ヶ月ではまず、文化や生活習慣などを主に体感し、慣れてきました。まだまだネイティブな人と会話をするときには自分のボキャブラリーが少ないためそこまで話が發展しないのがこれからの課題だと考えております。更に RIT では本当に様々な国の人がいるので積極的に交友関係を広めていこうと考えております。

以上で9月分の報告を終わります。